

平成 21 年度  
中国華南地域の消費者動向調査  
(グループインタビュー調査部分)  
報告書



2010 年 3 月

日本貿易振興機構 (ジェトロ)

広州事務所

## はじめに

- JETRO 広州事務所は、経済成長著しい珠江デルタ地域におけるボリュームゾーンの消費者像を把握できるデータを収集し、日系企業、特にサービス産業の進出、市場開拓の一助となるべく、本調査を実施した。
- 珠江デルタは長らく「香港地区の後背地で、労働集約型工業製品の輸出基地」という観念でとらえられてきたが、いまや後背地ではなく中国市場進出のゲートウェイとして注目が高まっている。「中国の富裕層が人口の1%だとしても日本の首都圏人口に相当する数の大金持ちがいる」。こう言われて、高価格なメイド・イン・ジャパンが富裕層をターゲットに中国進出したのはもはや過去の話だ。例えば以前なら接待需要が収益源だった日本料理店の進出形態は、最近では中間所得者層をターゲットにしたチェーン店進出に変化してきている。富裕層に代わって台頭してきたボリュームゾーンが日系企業にとって重要な収益源となっている。
- 本調査では、珠江デルタの2大都市である、広州市および深圳市にてグループインタビュー調査を実施した。1グループ各7名、1都市それぞれ異なったカテゴリーの3グループ、2都市で合計6グループに対しインタビューを実施した。回答者はお互い未知の人物である。
- 意識調査でもっとも注意すべき事項のひとつに、質問時に回答者に対してバイアス（偏見）がかからないようにすべきことが挙げられる。本調査実施にあたっては、日本の機関による調査であることが回答者に分からないよう、インタビューへの参加依頼およびインタビュー現場には日本人が関わらないようにした。またインタビュー現場では日本に関する質問を最後に実施した。
- 中国事情に詳しくない方でもグループインタビューの発言内容をより理解できるよう、各トピック末尾に「補足情報」を追加した。それぞれのトピックに関連する中国の事情であるが、必ずしもグループインタビューの結果から導き出されたものではない。
- 今回調査では、同様のテーマでインターネット調査も実施したので別冊をご覧ください。
- 本調査は、アライジェンス・コンサルタンツ（広州知才商務諮詢有限公司）に実施、制作を委託した。この場を借りて御礼を申し上げたい。本報告書が関係各位のご参考になれば幸いである。

2010年3月  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
広州事務所

## 要 旨

- 複数の質問項目で収入の多寡にかかわらず、広州の方が深圳より、精神的満足を得るために気前よく消費する傾向が見られた。
- 20歳代グループでは、まだ収入が少ないことから、海外旅行に行ったことのある人が皆無であった。
- 主婦グループは外食の頻度が他グループに比べて低い一方、子供用品の買い物について様々な考えを持っている。
- 富裕層 20歳代グループの男性でも、子供の教育や食材の買い物について多くの意見を述べた人がいた一方、主婦グループの中で毎晩接待で外食という人もいるなど、日本の一般的な家庭における夫婦の姿とは異なる特徴が出た。
- アルコール飲料については男性からの発言しかなかった。これは中国の女性はアルコールを飲む量が少ないか、まったく飲まない人も多いためと考えられる。
- 深圳ではショッピングの場所にこだわらない一方、広州ではショッピングの場所に対してランクづける傾向が強く、老舗を高級とし、安心感や買い物時の利便性を求めて高級店でショッピングする傾向がみられる。
- 料理の味付けについて、広州は深圳よりもうす味を好む。
- インタビュー全体を通して、「性価比」（費用対効果）という単語が頻出した。これは、中国では一つの種類の商品にしても、安い品質が劣る、高くても品質が劣る、日本以上に高価なもの、粗悪なニセモノ、品質の良いニセモノ、本物、非正規販売ルートで販売されている本物など、日本に比べ多くの基準の商品が混在しているためと考えられる。華南地区ではこれに加えて香港地区まで出かけて免税品を買うという方法もある。このような環境の中でより賢い買い物をするためにいろいろと考え、情報収集していることが今回のインタビュー調査を通してうかがわれた。

### 【免責事項】

ジェトロは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。これは、たとえ、ジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

本報告書は信頼できると思われる各種情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ジェトロは、本報告書の論旨と一致しない他の資料を発行している、または今後発行する可能性があります。

# 目次

I. インタビュー実施日時、地点 .....	8
インタビュー実施方法 .....	9
グループ分類.....	9
参加者属性 .....	9
II. グループインタビュー実施記録.....	10
1. 買い物をする際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機.....	10
①家電を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	10
②自動車を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	11
③食品を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	11
④不動産を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	12
⑤化粧品を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	12
⑥衣料品を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	13
⑦飲料を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	14
⑧アルコール飲料を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ .....	14
⑨携帯電話を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？ ....	15
2. どこで買うか？ .....	19
①自動車.....	19
②家電.....	19
③パソコン.....	20

④衣料品 .....	20
⑤携帯電話.....	21
⑥化粧品 .....	22
⑦食品.....	23
⑧飲料.....	23
⑨インターネットショッピング .....	24
3. よく利用する媒体、信頼できる・できない媒体.....	27
4. ブランドに対する意識 .....	30
①家電.....	30
②自動車.....	30
③デスクトップ PC .....	31
④ノート PC.....	32
⑤携帯電話.....	33
⑥飲料.....	33
⑦アルコール飲料 .....	34
⑧衣料品 .....	34
⑨化粧品 .....	35
5. 買い物に行く場所、百貨店にランク付けをするか.....	36
6. 香港地区に行く頻度.....	38
7. コンビニの利用.....	40
8. TV ショッピング.....	41

9. カタログショッピング、チラシ .....	42
10. 仕事探しの方法 .....	43
11. 外食について .....	44
①バレンタインデーに二人で 800 元程度のディナーコースを準備している店を見かけるが行ってみたいと思うか? .....	44
②西洋料理や日本料理について .....	45
③昼食について .....	47
④夕食について .....	48
⑤ランチに適するどんなレストランがあったら良いと思うか? .....	50
12. エコについて .....	51
13. 自己投資 .....	53
14. 子供の教育 .....	55
15. ファッション .....	56
16. 余暇の過ごし方 .....	58
17. 行ったことのある海外旅行先 .....	60
18. 行ってみたい旅行先 .....	61
19. 国別イメージ .....	63
20. 日本のイメージ .....	64
Ⅲ. 全体のまとめ .....	65
1. 年代別特徴 .....	65
2. グループ別特徴 .....	65

3.都市別特徴.....	66
4.男女別特徴.....	66
5.全体をとおして.....	66

## I. インタビュー実施日時、地点

実施日時： 広州 2010年1月30日 (土) 午後1時～6時半  
              深圳 2010年1月31日 (日) 午後2時～8時

実施場所：

広州市：天河区天河南一路の喫茶店



深圳市：南山区のIKEA（家具店）内カフェ



実施場所はインタビューに参加する人がわざわざ休日に出てくることに対する抵抗感を軽減するため、両都市で人気の買い物や食事に便利なエリアを選択した。

## インタビュー実施方法

広州、深圳ともに以下の各3グループに分けて実施した。各グループ7人の参加者と司会者1人で各グループ1時間～1時間半程度、普段の買物習慣についてディスカッションした。

## グループ分類

- 富裕層グループ 月世帯収入1万5千元以上
- 主婦グループ 既婚で子供のいる女性、職業の有無は問わない
- 20歳代グループ 固定収入のある人のみ、学生は除く

## 参加者属性

	広州			深圳		
	富裕層	主婦	20歳代	富裕層	主婦	20歳代
男/女人数	3/4	0/7	4/3	5/2	0/7	2/5
平均月世帯収入	19083 元	8714 元	8666 元	17142 元	11785 元	6666 元
平均月個人収入	9500 元	3214 元	4214 元	11250 元	3357 元	3416 元

## Ⅱ. グループインタビュー実施記録

### 1. 買い物をする際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機

広州、深圳ともに家電など高額製品はインターネットやクチコミなどで事前に熱心に情報収集するが、洋服や衣料品など安価なものや嗜好品は店頭で見かけて衝動買いする人が多かった。

マスコミではテレビ広告の力が圧倒的に強いようだ。雑誌などについては住宅情報誌や自動車情報誌など特定ジャンルの雑誌を参考にする人が見られた。またインターネットからの情報はどのグループでも強く支持されていた。

---

#### ①家電を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ スーパーの入口や食品売場などで、家電製品の広告を見かけることが多い。
    - ◇ テレビの広告を見て考える。テレビチャンネルは「星空」、「TVB」、「広州電視台」などをよく見る（いずれも広東語放送）。
    - ◇ 実物を見てから買う。
    - ◇ 店頭の宣伝販促員の言うことも参考にするが基本的には自分で考える。
  - 深圳
    - ◇ 会社の人に聞いてみる。
    - ◇ 予算の中で一番よさそうなものを選ぶ。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 友達からのクチコミ→ネットで評判を調べる→店頭で実際に比較するという三段階。
    - ◇ ネットは「搜狐」「百度」（いずれも中国のポータルサイト、検索エンジン）や Google、あるいはそのメーカーのサイトを見る。
  - 深圳
    - ◇ よく行くスーパーの家電売場の製品を見て比べる。
    - ◇ 直接、華強北路（繁華街、電器製品が多い）に行って見て買う。
    - ◇ テレビの広告で衝動買いすることがある。
- 20 歳代

- 広州
    - ◇ 中国メーカーは費用対効果がいいと思う。美的（本사를 広東省佛山市に置く大手家電メーカー）などは質もよい。
  - 深圳
    - ◇ 家電はよく計画して買う。
    - ◇ 家具付の家を借りているが家電が壊れると大家さんがいつも一番安い家電と買い換える。高いものを買った方が長い目でみると結局はトクなのに、と思う。
    - ◇ 店に行って見る→ネットでクチコミをチェック→店で買う。
    - ◇ 先にネットで価格をみて相場をつかむ→店で買う。店舗で買う方が保証が付いているので高くても安心。ネット販売は保証がない。
- 

## ②自動車を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
    - 広州
      - ◇ 店頭で見て試乗して比較。
      - ◇ デザインで決める。
    - 深圳
      - ◇ 半年かけてありとあらゆる車を試乗して最終的に本田の FIT にした。日本でも同クラスの車の中で売り上げナンバーワンだと聞いたのが決め手になった。
      - ◇ 雑誌やインターネット（买车網、日本語：買車網）で調べた。
  - 主婦
    - 広州
      - ◇ 予算に応じて買える車を買う。
    - 深圳
      - ◇ 安全性が大事。メーカーのサイトや販売員の説明を聞いて比較する。
  - 20 歳代
    - 広州、深圳とも発言なし。
- 

## ③食品を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
  - 広州、深圳とも後記設問「どこで買うか？」を参照。

- 主婦
    - 広州
      - ◇ 粉ミルクは医者に勧められたものを使っている。自分でもネットで成分を比較して、子供の状態に合わせたものを飲ませている。
      - ◇ 高いものは自分で決めるが、安いものは店頭販売員の説明に影響される。
      - ◇ 成分表示ラベルはあてにならない。
    - 深圳
      - ◇ 粉ミルクのブランドは時々変える。入っている栄養が違うので変えた方が栄養が偏らない。
- 

#### ④不動産を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
    - 広州
      - ◇ マンション見学の送迎バスを利用して現地に見に出かけてから買う。
      - ◇ 長期休暇の時などは一日中見て回ることもある。
      - ◇ 「买楼通」（「買楼通」：住宅情報誌、定価1元だが銀行などが無料で配布している）を見る。
    - 深圳
      - ◇ 地下鉄の開通予定図を数年前に入手。値上がりを見込んで駅ができる場所付近の物件を買った。
  - 主婦：コメントなし。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ お金ができたら買う。
    - 深圳
      - ◇ ずっと深圳で暮らすつもりなので絶対に家は買う。お金がなかったら郊外の不便な場所でもかまわない。
      - ◇ 深圳と田舎の両方で買いたい。
      - ◇ 自分では買えないので家を持っている男性と結婚する。
- 

#### ⑤化粧品を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層

- 広州 : コメントなし。
  - 深圳
    - ◇ スーパーの販促キャンペーンなどで試用して決める。
    - ◇ 必ず試供品をもらって決める。
    - ◇ シャンプーは「PANTANE」しか使わない。他のブランドは頭皮が痒くなる。
    - ◇ 安いシャンプーは台所用洗剤に香料が入っているようなものだから買わない。
  - 主婦
    - 広州
      - ◇ 敏感なので敏感肌用の「DHC」や「VICKY」を使う。
    - 深圳
      - ◇ 訪問販売は信用できない。最近は訪問販売を見なくなった。
      - ◇ 販売員の説明も参考にする。
      - ◇ スーパーのレジの横によく化粧品が置いてあるのを見る。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ バスや地下鉄の広告で知った「NIVEA」を使っている（男）。
    - 深圳
      - ◇ 友達が良いといったものを買う。
      - ◇ 新疆ウイグル自治区の大学に通っていた時に、学校の寮に化粧品会社の訪問販売がよく来た。今思うとわけのわからないメーカーのものだったが当時は何も知らなかったので何十元も出して買っていた。
      - ◇ 友達のクチコミで「メンソレータム」の製品をシリーズで使っている（男）
      - ◇ 化粧品はフランスのものがいいと思う。
      - ◇ 学生のころは国産ブランドだったが働いてから海外ブランドを使うようになった。
      - ◇ テレビやファッション雑誌の広告を参考にする。
      - ◇ 長く同じものを使うと効果が出にくくなるので時々変える。
- 

## ⑥衣料品を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
  - 広州

- ◇ トップモデルのファッションは参考にならない。ファッション誌は国内のものがいい。
  - ◇ 「瑞麗」を読む。（日本のファッション誌”RAY”の中国版。中国の女性ファッション誌の中で発行部数ナンバーワン）
  - ◇ 「男人帮」を読む。（男性総合誌。「プレイボーイ」誌のような雰囲気）
  - 深圳
    - ◇ 店頭で見て決める。
    - ◇ 他人の格好を見て参考にする。
    - ◇ 気分転換したいときに買う。
- 

#### ⑦飲料を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
    - 広州 : コメントなし。
    - 深圳
      - ◇ 機能性飲料をよく飲む。「紅牛（Red Bull）」がよいと思う。
  - 主婦 : コメントなし。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ 内容成分をみて安全なものを買う。
      - ◇ 新しい製品が出るととりあえず試してみる。
    - 深圳
      - ◇ 会社に置いてある飲水器（飲料水5ガロン入りのプラスチックボトルを取り付けて、レバー操作で水を出す機器）がもうかなり古いので安全面が心配。
      - ◇ 飲水器はときどき消毒しなくてはならないと聞いたが本当か。
- 

#### ⑧アルコール飲料を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
  - 広州 : コメントなし。
  - 深圳
    - ◇ ビールはスーパーで試飲して決める。
- 主婦

- 広州
    - ◇ ビールはこだわりなし。
  - 深圳
    - ◇ 何でも試してから買う。
  - 20歳代
    - 広州 : コメントなし。
    - 深圳
      - ◇ 飲まない。(全員)
- 

### ⑨携帯電話を購入する際の情報収集方法、選択の基準、購入に至る動機は？

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 高機能のものと通話のみのものと2つ持っている。
  - 深圳
    - ◇ 香港地区へ行くと大陸で売っていないモデルがあるのでそれを見て買う。
- 主婦 : コメントなし。
- 20歳代
  - 広州 : コメントなし。
  - 深圳
    - ◇ どうせ直ぐ失くすので一番安いものを買う。

#### 【補足情報】

#### 【家電】

日本のような家電量販店チラシは近年こそ少々発行されてきたものの、日本ほど多くはなく、またそこに情報を求める人もあまりいないようだ。新聞折込チラシも少ない。

#### 【自動車】

自動車情報誌や専門のウェブサイトもあるが日本ほど詳細な車のスペック比較、価格比較、乗り心地に対する比較を行っているものはない。よってメディアからの情報の他に試乗やクチコミ、販売員の説明などあらゆる角度から検討するようである。日

系の自動車に対しては「鋼板が薄くて安全性が低い」という認識を持つ人がいるため、販売員がこれに対して反論、および十分な説明ができるよう、マニュアルを準備している日系自動車メーカーもある。

### 【食品】

食品の添加物・毒物混入に関する話題は近年中国のホットトピックである。メラミン汚染ミルク問題、赤色着色料スーダンレッドの使用禁止問題など、中国では食の安全、品質に関する報道が多くなった。この影響を受けてか食品に関しては品質を重視するという意見が多く、外国製食品や飲料を購入する理由のひとつに品質面や添加物の配合などをあげる人もいた。国産品の成分表示があてにならないとか、詳しく書かれていなくて心配になる、という意見もあった。

### 【不動産】

中国では日本と比べ不動産が資産運用対象として人気があり、20歳代の若者でも活発に不動産購入のノウハウや、相場観に関して理解している者が多い。これは男性は結婚時にマイホームを準備するのが必須という考え方があること、および中国には固定資産税の制度がなく、また地価はこれからも上がり続けるという楽観的観測から不動産購入が投資先として合理的選択だと考えられていることなどによる。

会社員・公務員はすべて公積金と呼ばれる住宅積み立てが給与から引き当てられ、また銀行ローン審査も日本ほど厳格でないこともあり、月給が3000元程度の独身男女などでも、マンション購入に踏み切る人は多い。

住宅の購入は一生に一回の買い物という考えを持つ人は少なく、財テクのために2つ目の物件を購入したり、親が故郷から上京したためマンションを一部屋購入したり、結婚の際にとりあえず二人用の小さい物件を購入するなど、借りるよりは買うという選択が多いようだ。

### 【化粧品】

グループインタビューの際に「基礎化粧品は」、「色ものは」と分けて回答する人が多かったことから分かるように、中国人女性はこの2つを明確に区別している。広州市内で女性の歩行者を見ていると、ほとんどの人がノーメイクである。彼女たちは色ものは滅多に買わないため、このように区別するものと思われる。普段色ものを使わないため、中国人女性は肌の状態に気をつけている。基礎化粧品は多くの女性が使っており、パックの人気も高い。インターネットやクチコミによる情報収集には熱心である。日本の化粧品情報専門雑誌も現在2種類が翻訳されて出回っている。

また、中国には女性をターゲットにし、広告を主な収入源とする商用ウェブサイト

が多くあるが、その主力コンテンツは最初衣服であったものが、現在はほぼ化粧品になっている。化粧品ブランドはインターネットマーケティングに力を入れており、消費者の関心も高いようだ。化粧品専門紙記者によると広東地区には約 300 の地場化粧品メーカーがあるといわれ、その材料も日本から輸入しているなど品質的にも良いものが出てきている。また広州では「美博会」という大規模化粧品博覧会が毎年 3 月に開催されている。

#### 【飲料】

水道水は飲用に適さないので、店頭で 300ml～1.5L 入りのペットボトルが販売されているほか、多くのオフィスや家庭では 5 ガロン (18.9 リットル) のボトルを使う給水機を設置していることが多い。街ではその 5 ガロンボトルを自転車に 8 本ほどくくり付けて宅配している宅配員を多く見かける。華南では水のブランドとしては「怡宝 (C'estbon)」「屈臣氏 (Watson's)」などをよく見かける。

日系飲料ブランドではヤクルト、キリンビバレッジ、伊藤園、ビールではキリン、アサヒなどを中国でもよく見かける。日本ほど製品サイクルは早くない。例えばお茶であれば華南地区でよく見かけられるものは 4 ブランド 10 商品ほどあるが、それらは基本的に四季を問わず一年中、ここ数年間変わらず販売されており、新規商品もそれほど出てはいない。茶飲料は過去にはどれも砂糖入りだった。現在では「無糖」のものもあるが、やはり「微糖」と表示された砂糖入りをよく見かける。

#### 【携帯電話】

携帯電話を買う場所としては主に電腦城、携帯電話専門市場、家電量販店などがある。中国の携帯電話番号はキャリアが販売する SIM カードによって決まり、カードを自由に取り外しできる。携帯電話端末を買い替える際の手続きが不要のため、気軽に買い替えられる。機種は豊富で、低価格な白黒液晶携帯 (小売価格 300 元ほど) から高機能スマートフォン (小売価格 2500～5000 元ほど) まで多種多様である。また機能としては、漢字の手書き入力機能、辞書機能、漢字の音声読み上げ機能、携帯盗難時に住所録のデータなどを通信で手元に戻し、さらに携帯電話内部の記録をすべて消す機能、中国での 2 大通信規格である GSM と CDMA の両方の通信機能を備え、2 枚の SIM カードを同時に装填可能な携帯電話などがある。

携帯電話番号、つまり SIM カードはコンビニから小売店まで街のいたるところで購入できる。価格は 50 元のものが多いが、数字の語呂合わせのよいものが 100 元から、高いものは 8000 元以上で販売されている。

近年、中国国産の携帯電話メーカーが「山寨 (サンザイと発音)」携帯を多く発売し、国内外で話題になっている。「山寨」とは元は広東の方言からきており、訳すと

「バッタもの・まがい物」のような意味合いであるが、山寨携帯には多種多様なバリエーションがある。例えば「iPhone」をもじって「Hiphone」というロゴをつけたものや、「NOKIA」ではなく「NCKAI」、「アップル」の商標はりんごの葉っぱが一つであるが、葉っぱが二つになったような、紛らわしいロゴマークをつけた物もある。また有名ブランドではないが機体外観や画面の内容が有名ブランドのものと酷似しているものも多い。これらの外観は有名ブランドのコピーで、本物の機種には採用されていないテレビ機能、望遠鏡が組み込まれていたり、腕時計の形をしていたり、機体をスライドさせるとゲームコントローラーになっていたりと、ある意味では本物以上のスペックを備えていて、一部のユーザーに好評を得ているものもある。

### 【クチコミ】

インタビューでは、どの商品に対しても、どの世代においても「クチコミ」の影響が大きかった。例えばグループインタビューの中で新規オープンのレストラン「空中一号」は広告を出していないにもかかわらず、その場の全員が知っていた。また「人から美味しいと聞いた店にはとりあえず行ってみる」との発言があったことから分かるように、メディアに頼るよりはクチコミによる情報交換が盛んに行われている。

クチコミ情報をインターネット化したものとして「口碑網（クチコミネット）」がある。食品、レストランから遊び場所、住まい探しなどあらゆる情報のクチコミを集めたサイトである。中国において裕福、高学歴であればあるほど情報をネットにより得るという統計もある。

中国では他人の持ち物を見て「それいくら？」と聞く人が多いが、これは他人の懐事情に興味があるわけではなく、クチコミによる情報収集の一環であると言える。

## 2. どこで買うか？

インターネットの利用、家電量販店の利用について意見が分かれた。質やアフターサービスが安心できるかどうか、選択の大きなポイントになっている。書籍や著名ブランドの衣服、靴など、インターネットで買っても問題がないと思われるものは、まず店舗で現物を確認してから価格が安いインターネットで買うという人がいた。また高額商品はインターネットで買わないという意見も多く聞かれた。

他にも「外貿店」（衣服など輸出用に作った商品を国内で横流し販売している個人商店）や「水貨」（中国国内で販売されていない携帯電話などのモデルが非正規ルートで流通しているもの）などさまざまな購入ルートが挙げられた。

家電製品や化粧品については、香港地区で買うという意見が多いのも華南地区の特徴といえる。

---

### ①自動車

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 新車だったら必ず4S店（販売（Sale）、部品（Spare part）、アフターサービス（Service）、顧客データ管理（Survey）を行う、メーカー系列の販売店）で買う。
    - ◇ 中古は知人から買うならよいがそれ以外は買いたくない。
  - 深圳
    - ◇ ディーラーで買う。
- 主婦、20代：コメントなし。

---

### ②家電

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 友誼商店で買う。
  - 深圳

- ◇ 食品スーパーマーケットの家電売場で買う。
  - 主婦：コメントなし。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ 「国美」（家電量販店）、「蘇寧」（家電量販店）で買う。なんでも揃っているから。この2店舗はウェブサイトもよい。
      - ◇ 安心感があるから「国美」しか行かない。
      - ◇ 会社の下にあるから「華潤万家」（スーパーマーケットチェーン）の家電売場に行って買う。
    - 深圳
      - ◇ インターネットで情報収集するが買うのは店頭で。ネットで買うと安いが悪れたときの保証が付かない。携帯電話も同様。
      - ◇ 国美で買う。
- 

### ③パソコン

- 富裕層
    - 広州：コメントなし。
    - 深圳
      - ◇ 香港地区で買う。
  - 主婦：コメントなし。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ 電脳城で買うと外側は新品でも中の部品は中古といった粗悪品をつかまされることがある。
    - 深圳
      - ◇ 大学の先輩が卒業するときにとっても安く譲ってくれた。自分にはこれで十分。
- 

### ④衣料品

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ （女性）買う過程が楽しいのでネットショッピングはしない。

- ◇ (この女性の発言に対し、男性から) それは女にしか分からない感覚だ。
- ◇ 妻が買ってきてくれる。
- ◇ インターネットで買う。
- 深圳
  - ◇ ワイシャツはいつもネット。サイズが分かっているものはネットが便利。買いに行くのは面倒。自分が買っているのを見て同僚も同じサイトで買うようになった。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 高いものはデパートで。安いものは自宅近くの路面店で。
    - ◇ 「新大新」(老舗百貨店)で買う。かなり古くなった品を安売りしていることがある。
    - ◇ 洋服は着てみないと分からないからインターネットでは買わない。
  - 深圳
    - ◇ スーパー(複数意見)。
    - ◇ デパートによく行くが買うとは限らない。
    - ◇ デパートでは絶対買わない。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 外貿店(輸出用の商品を横流しして国内で販売している個人商店)で買う。
    - ◇ 自分が働いているビルの近くの店で買う。
  - 深圳
    - ◇ 「陶宝」(タオバオと発音。中国で最大手のB to C、C to Cインターネットショッピングサイト)で買う。一回に千元くらい買ってしまうこともある。
    - ◇ 外貿店で綿100%の服を買う。外貿店は質がいいと思う。

---

## ⑤携帯電話

- 富裕層
  - 広州: コメントなし。
  - 深圳
    - ◇ 水貨(非正規ルートで販売している店舗。多くは大陸では未発売のモデルが、香港地区から流入している。)でもOK。お金に余裕があったら本物を買う。

- ◇ 香港地区で買う。
  - 主婦
    - 広州
      - ◇ まったく同じ品物でも流通ルートによりモノが違う。
    - 深圳
      - ◇ 香港地区で買う（複数意見）。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ 「国美」で買う、大型家電総合店で安心。
      - ◇ プリペイド方式の携帯電話代金を一定額まとめてチャージしてタダでもらった携帯端末を使っている。
      - ◇ 会社が支給した携帯電話を使っている。
      - ◇ 携帯電話専門店で買う。輸入モデルなども揃っているから。
    - 深圳
      - ◇ 華強北路（繁華街）で買う。
      - ◇ 「国美」で買う。
- 

## ⑥化粧品

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 色づく化粧品（ファンデーション、口紅、アイシャドウなど）は香港地区やマカオ地区で買う。高いけど質が安心できる。
    - ◇ 基礎化粧品はスーパーなどでも買う。国産の方が中国人の肌質に合う気がする。
  - 深圳
    - ◇ 「ジャスコ」で買う。
    - ◇ 友人が働いているエステで売っているものを安く譲ってもらう。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 医療保険が使えるから薬局で買う。
  - 深圳
    - ◇ 昔は訪問販売を使っていたが今は品質が心配なのでやめた。
    - ◇ 香港地区で買う。
- 20歳代

- 広州
    - ◇ 「屈臣氏 (Watson's)」 (香港資本のドラッグストア) で買う。
  - 深圳
    - ◇ 「DHC」 専門店で買う。
    - ◇ 「屈臣氏」 で買う。
- 

## ⑦食品

- 富裕層
    - 広州
      - ◇ 輸入食品店などはニセモノもあるので要注意。外国人がたくさん買い物している店なら安心と感じる。
      - ◇ 「ジャスコ」 で輸入食品を買う。
    - 深圳
      - ◇ スーパーの食品は美味しくない。市場の方が値段は高いが質が良い。
      - ◇ 「人人楽」 (中国系スーパー) の肉は鮮度が悪い。
      - ◇ 「ウォルマート」 (米系大型スーパー) は以前はいいと思ったが、だんだんレベルが落ちてきた。野菜の上にハエが飛んでいたことがある。
  - 主婦
    - 広州
      - ◇ 粉ミルクは全部輸入食品店や香港地区まで買いに行く。
    - 深圳
      - ◇ 肉は市場で。スーパーの食品はブランド肉以外は鮮度が悪い。
      - ◇ 子供は中国製粉ミルクの方が味が気に入っているの中国製を飲ませている。
  - 20歳代：コメントなし。
- 

## ⑧飲料

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ スーパー、コンビニで購入する。
  - 深圳

- ◇ スーパーでケース買いする。「ウォルマート」や「カルフル」(仏系大型スーパー)がきれいでよい。
  - ◇ 「人人楽」はごちゃごちゃしていて種類も少ない。
  - ◇ 「天虹」(中国系スーパー)、「カルフル」は安い。「人人楽」は汚い感じ。
  - ◇ 「ウォルマート」は環境が良い。(この場合の「環境」とは、店づくりであるとか周囲の交通が便利という意味と考えられる)
  - 主婦
    - 広州
      - ◇ スーパーでまとめ買い。他の場所で買うよりずっと安い。
    - 深圳
      - ◇ 休日に車でまとめ買いに行く。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ 飲みたいと思ったときに目に入った場所を買う。道端の売店やコンビニなど。
    - 深圳
      - ◇ 毎朝会社の前の道端の店で豆乳を買う。お弁当を注文すると豆乳がサービスでついてくるのがいい。
      - ◇ 豆乳は機械を買って自分で作るのがいいと思うが時間がない。
- 

## ⑨インターネットショッピング

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ インターネットでは買わない。
    - ◇ 「陶宝」はよく使う。
    - ◇ ものによってはインターネットで購買するのも良い。
    - ◇ 高級品はインターネットで購買したくない。
  - 深圳
    - ◇ インターネットで買ったマッサージグッズを会社に届けさせて使っていたら、同僚20人以上が同じものを買った。
    - ◇ 年賀(旧正月時のギフト)を買いに行くのが面倒なのでネットで買った。会社の皆で一緒に注文したらトラック1台分になった。

- ◇ 「ナイキ」の靴とか、まず店頭で確かめてから、実際に買うのは価格が安いネットを使う。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 一時期は毎日のように利用していたが、今はあまり使わなくなった。
  - 深圳
    - ◇ 子供のおもちゃをネットで買う。買いに行く手間が省ける。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 「陶宝」は過去に買った人のクチコミを見ることができるので、店頭で買うよりむしろ安心だと思う。
    - ◇ 洋服を「陶宝」で買う。
    - ◇ ネットショッピングは安いもののみ（300元以下）利用する、高いものは店頭で買う。
  - 深圳
    - ◇ インターネットで物を買ったことがない。不安だから。

#### 【補足情報】

#### 【パソコン】

パソコン関連製品や電気製品を買う場所のひとつに「電腦城」がある。これは個人経営が中心の小面積のブースが所狭しと並ぶ卸売市場のような形態をとっている。その実態は純正品、模造品、横流し品、輸入品が玉石混合で並べられ、雑然としている。日本のように価格が明記されている店舗は少なく、商品の仕様（スペック）、アフターサービス、保証制度、同じメーカーの他のラインナップなどについて明確に表示されていることは少ない。

接客態度・製品知識も店員によりまちまちである。こういった店舗では一般的に価格交渉が可能であるが、各店舗には基本的に一人の個人経営者もしくは責任者がおり、責任者が店頭にいる場合と、責任者でない店員しかいない場合では値下げ交渉の範囲が異なるのが常である。

広州市には広東省最大、全中国でも有数の電腦城が多い。たとえば崗頂地区には「太平洋電腦城」「天河電腦城」「百腦匯」などの大型電腦城が並び、数千の店舗が営業している。店舗数が多く、各店舗は製品のカテゴリーが限られている上、製品自体も日本の店舗と比べそれほど差別化された製品が揃っていないためか、価格競争が激し

い。2008年度のヒアリングによると、自作パソコンを一台（小売価格 2000～4000 元）組み立てても店舗側の利益は 50-300 元、USB メモリー（小売価格 50-200 元）で利益幅 10～30 元 MP3 プレーヤー（小売価格 100～200 元）の利益幅 30～40 元、ハードディスクドライブ（小売価格 500～1000 元）の利益幅 10～20 元、LCD ディスプレイ（小売価格 1000～2000 元）で利益幅 10～50 元と薄利である。

電気製品は、品質はどこで買っても同じということはなく、ニセモノであったり、外観は純正品であっても部品の一部が中古品や廉価品と交換された物であったり、付属しているはずの純正品パーツが抜き取られている場合もあるので注意が必要である。

他方、「国美」「蘇寧」に代表される家電量販店は、販売価格が明示されサービスの質もある程度均一化されているため、比較的安心して買い物ができる点が消費者に受け入れられ、全国にチェーン展開するようになった。

#### 【インターネットショッピング】

インターネットショッピングにおいては出店者に対する買い手の評価が逐一フィードバック・公開され、この評価の高低が売り上げを左右する。このため出店者側もよい評価を得るために努力するので、グループインタビューの意見にもあったように上手に利用すればむしろ現実の小売店で買うより安心という面もあり、中国でも普及している。

中国におけるインターネット販売の最大手「アリババ」（阿里巴巴）が開発したインターネット決済システム「アリペイ」（Alipay、支付宝）は、買い手はインターネットで製品を決済後、支払い金額を一旦アリペイ上にプールし、製品が到着して手にとってその内容を確認した後、プールしている支払い金額を出店者にリリースするというシステムである。製品に故障があったり、粗悪品・模造品であったりした場合、買い手は受け取り拒否または返品できる。このときアリペイにプールした代金が買い手に返金されるという、消費者保護を重視したシステムになっている。

著名なインターネットショッピングサイトに「アリババ」傘下の「陶宝」（Taobao）がある。「陶宝」上では製品価格のほかに、売り手の信用度や、品質保証制度などを容易に比較できるようになっている。

#### 【家電】

中国では様々なものが買ってまもなく壊れることが多く、多くの電気製品修理店を街中で見かける。家電量販店などはある程度アフターサービスのシステムが整っており、購入後 1 年はメーカーが無料修理することが多いが、保証書および正規ルートで買ったことを証明するために発票（法定領収書）を提示することが必要である。無料

保証期間経過後は、一般にメーカー指定の修理店に行くよりも街中の修理店の方が安く修理できるが、交換部品などの質や技術は劣ることが多い。

#### 【飲料】

主にスーパーやコンビニ、道端の売店などで販売している。自動販売機は少ない。自動販売機が浸透しないのは、①道端の小売店が多いこと、②コインの流通が少ないこと、③お札の小銭が汚損・摩耗していて機械での認識が難しいこと、④自動販売機自体の強盗対策など保安面、⑤屋外での電源の確保が困難であるなど保全面が原因とされている。

#### 【スーパー】

華南地区にあるスーパーで主なものは百佳（香港資本）、華潤万家（本社深圳）、人人樂（深圳本社、広州には店舗なし）、カルフル（フランス）、ジャスコ（日本）、「ウォルマート」（米国）、「メトロ」（ドイツ）など。国内資本と外資がしのぎを削っている。

### 3. よく利用する媒体、信頼できる・できない媒体

テレビとインターネットを利用する人が大多数。雑誌、新聞、ラジオを利用する人は少ない。

#### ● 富裕層

##### ➤ 広州

- ◇ ネットのクチコミには“ヤラセ”もあって必ずしも信用できない。
- ◇ 「中央電視台1チャンネル（CCTV1）」の広告は信頼がおける。
- ◇ ニュースは携帯電話で見る。新聞を読む時間はない。（複数男性）
- ◇ 会社でネット、自宅でネット、それ以外の時間は車通勤の運転の合間に携帯でネット、というように常にオンライン状態でいられるのでインターネットは便利。
- ◇ インターネットショッピングなら「淘宝」、「拍拍網」、「太平洋電腦網」をよく利用する。
- ◇ インターネットでは高級品が売ってない。

##### ➤ 深圳

- ◇ 会社に着いたらまずネットでニュースを見る。
- ◇ ネットしか見ない。1日30分。
- ◇ 1日18時間ネットしている。
- ◇ 携帯電話でニュースを見る。(3名)
- ◇ 個人のブログは“ヤラセ”がないので信用できる。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ テレビをよく見る。(複数)
    - ◇ 子供に悪影響を与えるのでテレビは見ない。(1人)
    - ◇ 「時尚旅遊」(旅行雑誌)、「貝太厨房」(料理雑誌)をよく読む。
    - ◇ メディアよりは価値観の同じ友達のクチコミを信用する。(複数意見)
  - 深圳
    - ◇ テレビは子供だけが、老人に付き合いながら見る。
    - ◇ インターネットの利用時間が一番多い(全員)。
    - ◇ 新聞はウソが多いと思う。
    - ◇ 「新聞連播」を毎日見る(毎日夜7時の中央電視台のニュース。中国全土の多くのケーブル局で中継されている。過去には重要な情報源であったが現在は政府の宣伝番組との批判もあり視聴率が伸び悩んでいる)
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ テレビが比較的信用できる。
    - ◇ クチコミが一番確実。
    - ◇ 夜にラジオをよく聴く。
    - ◇ 「地鉄報」(地下鉄駅近辺で無料配布される日刊のタブロイド)
    - ◇ テレビ+クチコミ
    - ◇ テレビ+インターネット
  - 深圳
    - ◇ 「中央電視台」、「深圳衛視」(ともに普通語のテレビ局)をよく見る。
    - ◇ 「QQ空間」(QQは中国で広く普及しているチャットソフト。QQ空間は利用者各人が日記や写真を公開できる機能を持つ)
    - ◇ 「開心網」(SNS、ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
    - ◇ 買い物するときはインターネット上の評判を重視する。
    - ◇ 時間があったらネットしている、毎日3時間以上。
    - ◇ 「深圳特区報」(新聞)をよく読む。

### 【補足情報】

#### 【テレビ】

ケーブルテレビは広く普及しており、数十チャンネルが月額 20 元程度で楽しめることから情報を仕入れる媒体として人気がある。中国では各省や市レベルでも独自のテレビ局があり、華南地区では香港地区のチャンネルも視聴することができる。テレビ局の数が多いことから日本に比べるとテレビ CM を出すことはそれほど困難ではなく、広州のテレビ局では受付にあるレジで現金を払って CM 枠を買う広告代理店社員の姿も見られる。

テレビの放送時間が一定でないことや録画機器が普及していないことなどから録画して見るという習慣がない。広告代理店の立場からいえば、視聴中に CM を早送りされることはないので、一定の費用対効果は見込める。

#### 【ラジオ】

日本と同様に深夜放送などではリスナーからの手紙を読んだり、リスナーのリクエストによる音楽を流したりする。車の運転をしながらラジオを聞くほか、MP3 プレーヤーに標準装備されているチューナーでラジオを聞くことができる。

#### 【雑誌】

中国では書店の数は少ないが道端の新聞・雑誌スタンドは多い。新聞は 1～2 元と安価だが、雑誌などは月刊ファッション誌で 20 元前後とやや高いこと、雑誌の発行総数が政府によって制限されていることなどから、日本ほど雑誌は発達していない。

雑誌スタンドは空間に限られるため品ぞろえは多くなく、雑誌スタンドに卸す流通コストも大きいため、発行部数が少ない雑誌や専門性が強い雑誌は郵便局を経由した定期購読が主に利用される。雑誌、書籍を購入するウェブサイトとしては「当当網」が有名。

#### 【携帯電話】

中国では 2009 年に 3G サービスが開始したばかりであり、これを利用したコンテンツはまだ充実していない。

## 4. ブランドに対する意識

特に家電やパソコン、携帯に関して「自分はこのブランドが好き」といった、具体的なブランド名を上げる意見が多く聞かれた。

今回の結果を見ると、家電や化粧品など、中国ブランドへの支持が高まってきているようだ。PCは、デスクトップなら安い国産ブランドで、ノート型は海外ブランド、など価格と品質のバランスをよく考えて選択している。

一方食品に関しては国産品の安全性に対する疑念が根強いようだ。

---

### ①家電

#### ● 富裕層

##### ➤ 広州

- ◇ 最近では国産メーカーも品質が良くなってきている。
- ◇ 日本メーカーの製品は、質はよいがアフターサービスはそれほどでもない。悪いとまでは言えないが、値段が高いのでそれに見合ったアフターサービスを期待するとがっかりさせられることがある。

##### ➤ 深圳

- ◇ 「美的」や「ハイアール」など国産ブランドのアフターサービスはよい。

#### ● 主婦

##### ➤ 広州：コメントなし。

##### ➤ 深圳

- ◇ 国産ブランドで良いものがある場合はなるべく国産ブランドを買う。みんなそう思っているのでは？
- ◇ 「パナソニック」製品をよく買っている。
- ◇ 「ハイアール」は性価比（性能と価格の比較。費用対効果）が高いと思う。

---

### ②自動車

#### ● 富裕層

##### ➤ 広州

- ◇ 1台目は10万円位までの安い車を買って、2台目は良い車を買うの  
がいい。(複数意見)
- ◇ 「比亞迪(BYD)」(本社を深圳に置く中国系自動車メーカー)が  
いい。実用的で費用対効果が良い。
- ◇ 欧米ブランドでは「ビュイック」「アウディ」や「プジョー」も  
良い車だ。
- 深圳
  - ◇ ドイツ車の実用性が高いと思う。
  - ◇ 輸入の「フォレスター(スバル)」を買った。このブランドを知  
っている人が少なくあまり自慢はできない。後部座席の座り心地が  
今一歩。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 憧れるのはドイツ車だが燃費が悪いので現実的に選ぶのは  
「トヨタ」や「ホンダ」、「マツダ」など。日本車は実用的だ  
と思う。
  - 深圳
    - ◇ ドイツ車は丈夫で事故の時にも安心。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 勤務している会社の社長が最近レクサスを買った。納車2ヶ  
月待ちだったそうだが、リコール事件が起きる前に注文してし  
まったそう。
  - 深圳
    - ◇ 「比亞迪(BYD)」はダサイので嫌。「アウディ」がいい。
    - ◇ 「レクサス」がいい。
    - ◇ 「GM」、「トヨタ」、「ホンダ」がいい。(司会者:深圳に住  
んでいるのに地元のBYDはどうしてだめなのか?) BYDは歴史  
がないから。

---

### ③デスクトップPC

- 富裕層、主婦ともコメントなし。
- 20歳代
  - 広州

- ◇ 「七喜 (HEDY)」が良い。デスクトップは国産でOK。まったく同じスペックのPCを比べたら海外ブランドが4000円で国産は3000円で買える。特に「神州 (Hasee)」は安い。
  - ◇ 联想 (LENOVO) が良い。IBMを買収して以来、技術力が上がったと思う。
  - 深圳
    - ◇ 自作機を使っている。友達の分もたのまれて何回も作ったことがある。
    - ◇ 何でもいい。
- 

#### ④ノートPC

- 富裕層
    - 広州
      - ◇ ブランド重視。
      - ◇ 「サムソン」がいい。携帯も「サムソン」を使っていて長持ちすると感じている。
      - ◇ 「シャープ」がいい。会社でも「シャープ」を使っている所以宅用も同じにした。
      - ◇ 「デル」がいい。周囲の評判がよいから。
      - ◇ 「ハイアール」がいい。アフターサービスが良いから。
    - 深圳
      - ◇ 会社支給の「デル」
  - 主婦：コメントなし。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ 「東芝」が日本製のなかでは安い。「SONY」は高い。
      - ◇ 「サムソン」がいい。友達が薦めた。(他一名も同様の発言)
      - ◇ 自作機がいい。費用対効果が高い。
    - 深圳
      - ◇ 友人に譲ってもらった「NEC」を使っている。
      - ◇ ノートPCはもっていない。
      - ◇ 「東芝」を持っている。他にデジカメとか電器製品は何でも日本のメーカーを使っている。でもテレビだけは安いもので十分なのでTCLにした。
      - ◇ 「SONY」を持っている。友達に薦められた。
-

## ⑤携帯電話

- 富裕層
    - 広州
      - ◇ 「ノキア」が一番使い勝手がよい。
      - ◇ 「サムソン」がいい。
    - 深圳
      - ◇ コピー品でも最近品質がよい。安いコピーブランドを頻繁に買い替えている。
  - 主婦
    - 広州：コメントなし。
    - 深圳
      - ◇ コピー品なら値段が3分の1で済むからコピー品で十分。（複数意見）
      - ◇ コピー品は電磁波の問題が心配。
  - 20歳代
    - 広州
      - ◇ 「ノキア」が一番使い勝手が良く、電波の感度もよい。
      - ◇ 「サムソン」。デザインがよい。
    - 深圳
      - ◇ 「ソニーエリクソン」が一番デザインがかわいい。女性向きだと思う。
      - ◇ 「フィリップス」は電池が長持ちする。値段も安いが見えない。
- 

## ⑥飲料

- 富裕層：コメントなし。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ ブランドで安全性を判断する。
    - ◇ 国産のものは成分表示ラベルも本当かどうか信用できない。
    - ◇ よく飲むのは「ヤクルト」や「孟牛」（中国系乳製品メーカー）の飲むヨーグルト。健康にいいイメージがある。
    - ◇ 粉ミルクはニュージーランド、オーストラリア、米国のメーカーのものを買う。
  - 深圳：コメントなし。
- 20歳代
  - 広州：コメントなし。

- 深圳
  - ◇ 「康師傅」のアイスティーが美味しい。

---

## ⑦アルコール飲料

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 「五糧液」（白酒の有名ブランド）、「青島ビール」が美味しい。「ハルピンビール」は苦味がなくてよい。
    - ◇ 「キリン」や「アサヒ」はあれば試してみる。
    - ◇ 出かけた先ではご当地ブランドのビールを飲む。
  - 深圳：コメントなし。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ こだわらない。
- 20歳代：コメントなし。

## ⑧衣料品

- 富裕層：コメントなし。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 自分に合うことが大事。ブランドは重要ではない。
  - 深圳
    - ◇ 「GAINREEL」という中山市の下着ブランドがいい。もともと欧米下着メーカーのOEMだった会社が始めたブランドで、質もデザインも欧米並みに良いのに、上下セットで100元前後と手ごろな価格だから。
    - ◇ ブランドは気にしない、気に入ったら買う。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 見て気にいったら買う。
  - 深圳
    - ◇ 小柄なので海外ブランドはサイズが合わない。国内ブランドがいい。
    - ◇ 結婚するときはウエディングドレスでなくチャイナドレスが着たい。

- ◇ 以前映画の影響でチャイナドレスが流行ったときにたくさん作ったが、深圳に来てから天気が暑いので着る機会がない。もったいない。
- ◇ ブランドよりも質が大事。

---

## ⑨化粧品

- 富裕層：コメントなし。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 材料を買って手作りする。添加物がなくて肌に良い。
    - ◇ 「OLAY」（米国ブランド。日本では売られていないが中国では香港女優のマギー・チャンを広告に登用し広く普及している）が良い。
    - ◇ 「OLAY」はどここのスーパーでも売っているので買うのに便利。
    - ◇ 「ランコム」や「ロレアル」は中国国内の研究所で開発しているので商品が東洋人の肌に合っている。
    - ◇ 自分は肌が弱いので「ラロッシュポゼ」をずっと使っている。
  - 深圳
    - ◇ ずっと「SK-II」を使っていたがニセモノが出回ってからやめた。
    - ◇ 「シャネル」が良いと思う。
    - ◇ 「シャネル」はにおいが強すぎて嫌い。
    - ◇ 香港地区で「MISSHA」を買う。
    - ◇ 知り合いが深圳の「新時代」というメーカーで働いていて試供品をくれるのでそれを使っている。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ いろいろ使ったが化粧品は国産が中国人に合っていると思う。
    - ◇ 「Avene」が良い。
    - ◇ 「Avene」は使ってみたが別に普通だった。値段ほどの価値はない。
  - 深圳
    - ◇ これを使っている。（と取り出したのは日本の「アルビオン」の化粧品の試供品だったが本人は日本のブランドであることを知らなかった）
    - ◇ 「DHC」の洗顔料が良い。
    - ◇ 「Benefit（貝玲妃）」（米国）はパッケージがかわいいが値段が高すぎる。

### 【補足情報】

特に近年まで粗悪品が多かったためか、著名なブランドのもの＝安心、知らないメーカーのもの＝不安という感覚が強いようだ。「どここのメーカーがよい」という情報交換も日常生活でよく行われている。

商店の入り口ではブランドの由来について紹介されたボードが置かれているのをよく見かけるが、これも「当社のブランドは歴史がありしっかりしています」ということを消費者にアピールするためである。

書店においても「エルメス」、「シャネル」など衣料品ブランドや「オメガ」など時計ブランドについて解説した本が販売されている。

品質面での安心感ではなく、ステータスシンボルを求めてブランドを購入するという意識は、華南地区では中国の他地区と比べて低いようだ。日系化粧品メーカーのセールス担当者によると、高級品は一般に北京、上海のほか、瀋陽、ハルピンなど東北地区でよく売れると言う。上海などでは月給2~3000元のOLが飲まず食わずにお金をためてブランドバッグを買ったりするなどと言われるが、華南地区の消費者はどちらかというと実用主義のようだ。

## 5. 買い物に行く場所、百貨店にランク付けをするか

深圳の大型高級ショッピングモールは休日でもほとんど人がいないところがあるほどで、「普通のをわざわざ高級な場所に出かけて買う必要はない」との発言もあった。

一方、広州では買い物に行く場所に対してランク付ける傾向が深圳より強く、老舗を高級とし、安心感や買い物時の利便性を求めて高級店でショッピングする傾向がインタビュー調査に現れた。

### ● 富裕層

#### ➤ 広州

◇ 「天河城」、「正佳広場」（いずれもショッピングモール）は新広州人（広州生まれでなく、あとから広州に住むようになった人）が行くところだ。本地人（地元出身者）は「南方大厦」（テナントビル）や「友誼商店」（国営デパート）に行く。

◇ 「中華広場」（ショッピングモール）はワンランク下の感じ。

◇ 「中華広場」から「ジャスコ」がなくなったと聞いた。代わりに何が入るのか？

- 深圳
  - ◇ 百貨店は人が多くてイライラするので行かない。地元の小さな店で十分。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 「広百」（百貨店）がよい。
    - ◇ 「友誼商店」はサプライヤーもいい物を卸すし、駐車場も整備されていてよい。
    - ◇ 「国美」、「蘇寧」（共に家電量販店）はサービスが今一歩。問い合わせ電話番号に電話しても誰も出ない。広州人は行かないと思う。
  - 深圳
    - ◇ 「天虹」は中高級、「カルフル」は中級というイメージ。
    - ◇ 高級なのは「COCOPARK」、「万象城」、「益田広場」などのショッピングモールで買う。でも日常使うものをわざわざ高級な場所に出かけて買う必要はない。
    - ◇ 「COCOPARK」は食事するならいいと思う。
    - ◇ 「益田広場」の地下のスーパーで売っているものはとても高い。上の階のビュッフェレストランは夜7時までに行くと安い。60歳以上も半額。
    - ◇ 「国美」、「蘇寧」は店員に専門知識があつてよいと思う。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 「天河城」が高級だと思う。
    - ◇ 「正佳広場」が高級だと思う。
  - 深圳
    - ◇ 決まったところにしか行かないので分からない。
    - ◇ 「ウォルマート」がよいと思う。
    - ◇ 「ジャスコ」で日用品を買う
    - ◇ 「万象城」、「金光華広場」（ショッピングモール）は高級で「COCOPARK」はカジュアルな感じ。

#### 【補足情報】

近年広州、深圳共に新しいショッピングモールが続々とオープンしたが、グループインタビューの結果からは新しい店舗が特に支持されていることはなさそうである。これは、どのショッピングモールも似たり寄ったりで取り立てて目新しさを感じる人

が少ないことに一因があると考えられる。

中国でも 1900 年代初めにはデパートはあったが、相次ぐ騒乱などで日本の百貨店のように大きく発展することがなかった。また 1980 年代初めごろまでは来店客が自分で商品を手にとって選ぶことができず、店員に欲しいものを出してもらう方式であり、近代的な大型ショッピングモールが中国で広がったのはここ 20 年ほどのことである。このためショッピングモールの運営について、デベロッパーも経験が浅く、ショッピングモール自体のコンセプトで集客するようなマーケティング手法が確立されていないことが、どのショッピングモールも似たようなものになってしまう理由のようだ。

## 6. 香港地区に行く頻度

調査を行った地区が広東省であるためと考えられるが、香港地区に対する意見は、例えば交通費を計算に入れて費用対効果に合うのであれば香港地区に行くと言う意見に代表されるように、実利的であるものが多かった。それは別の見方をすれば、「香港地区でしか買えないもの」は少なくなってきたということでもある。しかし、まだ一部の商品、例えば化粧品、電化製品、ブランド品、粉ミルクなどは香港地区で買った方がよいと考えられているようだ。

### ● 富裕層

#### ➤ 広州

- ◇ 半年に 1 回。
- ◇ 出張でしか行かない。
- ◇ 1 年に 5～6 回程度。
- ◇ 数人で共同購入する。
- ◇ 友人知人に行く用事のある人がいれば頼んで買ってもらう。
- ◇ 1 回で数千元使う。
- ◇ 交通費もかかるから、費用対効果がよければ香港地区まで出かけて買う。

#### ➤ 深圳

- ◇ 仕事でよく行く。
- ◇ 1 年に 3 回くらい。
- ◇ 特に必要がない。1 年に 1 回くらいしか行かない。
- ◇ 誰か行く人がいれば頼んで買ってもらう。

- ◇ 香港地区から戻る終バスが早すぎて不便だ。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 人に頼んで買ってきてもらう。
  - 深圳
    - ◇ 金を使うのは香港地区よりマカオ地区がいい。
- 20 歳代
  - 広州（行ったことがある人は7人中5人）
    - ◇ 服や化粧品、携帯、カメラは香港地区で買う。
    - ◇ 最近通行証の有効期限が切れてしまったので行っていない。
    - ◇ 同居の家族は頻繁に香港地区に買い物に行っている。
    - ◇ 香港地区の農村はきれい、大陸と違って農村でも住民の民度（文明度）が高く安全。
  - 深圳（行ったことがあるのは7人中1人のみ）
    - ◇ お金をためてから行く。
    - ◇ 通行証を取得するのが面倒。
    - ◇ 化粧品を人に頼んで買ってきてもらう。

#### 【補足情報】

広州から香港地区の九龍市街地への所要時間は電車で2～3時間と日帰りも十分可能である。大陸の人が香港地区へ行くには通行証が必要。広州、深圳戸籍の人は申請すれば1週間程度で取得可能だが、それ以外の戸籍の人は申請が困難だったり、申請のために本籍地へ出向かなければならないため、気軽に香港地区に行けない人もいる。

深圳=香港地区間のイミグレーションは近年数が増えて現在5箇所あり、深圳のどの地点からも往来が便利になった。香港地区戸籍および香港地区の永住権を持つ人は通行証もICカード化され、出入国手続きも簡便になっている。香港企業がスポンサーになって香港地区の労働ビザを入手する広東在住の人の例もよく聞かれるようになった。

2007年はじめに中国元と香港ドルの対米ドルレートが逆転して以来、中国人にとって香港地区での買い物は一層お得感が強まった。現在では香港地区の繁華街の商店では多くの店員が広東語だけでなく標準語（マンダリン）も話し、大陸からの買い物客に対応している。

なお、電器製品などを香港地区で買った場合、大陸では無料保証期間が適用されないことが多いので、香港地区での買い物は、万一製品に不具合が生じた際の対応も含めて検討しなければならない。

## 7. コンビニの利用

朝食や軽食を買う人が多い。日本のように新商品、流行商品、季節商品を見つけないためにコンビニに行くという意見はまったく聞かれなかった。コンビニで販売している食品は、飲料やスナック菓子、干物など賞味期限の長いものが多く、牛乳も LL（ロングライフ）中心ということで、日本ほど生鮮食品の品ぞろえが豊富ではないことから、「コンビニはジャンクフードばかりだから行かない」という意見が出た。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 毎日朝食を買う。（複数回答）
    - ◇ 「OK 便利店（サークル K）」のお弁当が美味しくてお気に入り。
    - ◇ もっぱら飲料やビールなどアルコール飲料、食品を買うのみ。
  - 深圳
    - ◇ コンビニは高くて不経済なので行かない。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ ジャンク食品ばかりなので行かない。
    - ◇ ゆで卵とパンだけ買う。
    - ◇ お菓子をかう。
  - 深圳
    - ◇ 製造年月日が古いので行かない。
    - ◇ 飲み物を買う。
    - ◇ コンビニは高いと思う。
- 20 歳代
  - 広州
    - ◇ 飲料、朝食、昼食を買う。
    - ◇ ドラッグストアの店員は態度が悪いので、遠いけどコンビニを使う。
  - 深圳
    - ◇ 会社の下にあるから「セブンイレブン」によく行く。肉団子と水を買う。

◇ 必要がないので行かない。

#### 【補足情報】

朝食や昼食を買うためにコンビニに行く人が多いため、「セブンイレブン」、「OK 便利店（サークル K）」など各チェーンでは地元老舗の「広州酒家」など有名レストランとのコラボレーションの弁当や、安価な朝食メニューの販売、イート・イン・コーナーの設置など工夫を施している。他にも携帯電話や、地下鉄・バスカードのチャージなどもできる。

タバコについては 2007 年から外資系スーパー、コンビニでの販売規制が強化されたため、タバコを置いていない店も多い。

## 8. TV ショッピング

ほとんどの人が「信用できない」など、否定的な印象を持っている。利用したことのある人は 30 歳代以上の比較的年齢の高い人であった。買ったものは健康、美容器具など。

### ● 富裕層

#### ➤ 広州

- ◇ 利用したことがある。（2名：健康、美容器具）
- ◇ まったく信用できない。（複数回答）
- ◇ ウソくさい。（複数回答）
- ◇ 「像果国際」という TV ショッピングを使った事がある。
- ◇ 健康器具を購入したが、壊れた。
- ◇ 普通に買うのと変わらない。
- ◇ プレゼントが付くという特典も多い。

#### ➤ 深圳

- ◇ 信用できない。

### ● 主婦

#### ➤ 広州

- ◇ マッサージ器、やせるベルトを買ったことがある。
- ◇ しゃべり方がわざとらしくて嫌い。

- 深圳
  - ✧ 買ったことはないし買う気も起こらない。信用できない。
  - ✧ バス車中の TV は以前は痩せる薬の広告が多かったが最近はお見合い番組になった。見ていて面白い。
- 20 歳代
  - 広州
    - ✧ 使ったことがない、信用できない。（全員）
  - 深圳
    - ✧ 使ったことがない、信用できない。（全員）
    - ✧ 同じ痩せる薬の広告をずっとやっている。ウソくさいけれども買う人がいるのだろう。

## 9. カタログショッピング、チラシ

- 富裕層
  - 広州
    - ✧ 情報集めや比較に使う。「屈臣氏 (Watson's)」のチラシなどはずっと家に溜めてある。
    - ✧ 面白いのでよく眺めている。
    - ✧ 文房具などのチラシを見て必要があれば買う。
  - 深圳：コメントなし。
- 主婦
  - 広州
    - ✧ あまり信用できない。「当店が一番安い！」と書いていても実際には他店の方が安いこともある。
  - 深圳：コメントなし。
- 20 歳代
  - 広州
    - ✧ 自分が興味のあるものだけ見る。
  - 深圳
    - ✧ 郵送で送られてくるものがある。時間があれば見る。

### 【補足情報】

中国にも郵送によるカタログショッピングはあるが、日本の「NISSEN」「千趣会」のような大手の会社は見当たらない。これは代金回収の問題や、中国では紙の値段が高いためカタログの印刷コストが高いこと、広州市内でも2週間以上かかることがある普通郵便の配達スピードの遅さなどに起因すると思われる。カタログショッピングが普及するより先にインターネットショッピングが普及した。

## 10. 仕事探しの方法

インターネットで探す方法と人材紹介業を利用する2通りに分かれた。人材紹介業者のシステムは日本とほぼ同様に、求職者の登録は無料で、採用する企業側が成功報酬で料金を負担する。中国では公務員以外は多くの人が転職をするので、人材紹介業者は日本よりも身近な存在。求人情報専門新聞なども売られているが、今回の参加者の中に利用している人はいなかった。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 専門分野毎にセクションが分かれているので人材紹介業者（ほぼ全員の意見一致）を利用する。
    - ◇ 人材紹介業者では「鋭旗」などを利用
  - 深圳
    - ◇ 自分の仕事は専門性が高いのでこの業界内では引き抜かれて転職する人が多い。
    - ◇ 転職したことがなくずっと同じ会社で働いている。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ インターネット
    - ◇ いつも人の紹介で仕事を見つけているので履歴書を書いたことがない
  - 深圳
    - ◇ インターネット
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ インターネットで探す。
  - 深圳
    - ◇ インターネットで探す。

- ◇ 以前勤務していた会社でインターネットで求人したら一つの職位に数百人が応募してきた。ほとんどの人が仕事経験のない大学の新卒者で結局こちらの条件にあてはまる人が数人しかいなかった。インターネットは求人側からみると効率が悪い。

#### 【補足情報】

中国では最近まで雇用契約が1年の期限付で毎年契約更新というスタイルであったこと（現在は終身雇用的雇用契約も導入されている）、年功序列的賃金体系でないことから、長く一つの会社に勤務することのメリットが少ない。そのため公務員以外は何度か転職する人が多い。

## 11. 外食について

外食時の予算やよく行く店、どんな店がいいかなどについて昼食、夕食それぞれについて質問した。また2010年はバレンタインデーと旧正月の元旦が重なったことから二人で800元など高額の設定メニューを売りだすレストランが見られた。

普段の昼食なら10元強、夕食なら50元から100元くらいが平均的出費であった。高額メニュー（上記の800元ディナー）については広州では記念日ならOKとの回答が多かったのに対し、深圳では高すぎるとの声が圧倒的であった。

### ①バレンタインデーに二人で800元程度のディナーコースを準備している店を見かけるが行ってみたいと思うか？

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 記念日など特別な日ならOK。（全員）
    - ◇ 内容による。ロブスターと輸入物のワインがついているならOK。ロケーションも変な場所ではなく、ホワイトスワンホテル（老舗の5つ星ホテル）の中とかなら許せる。
    - ◇ 二人で800元なら特別高くない。上海によく行くが上海なら2人で1500元くらいでも普通だ。何事も経験、試してみてもよいと思う。

- ◇ 「空中一号」(2009年オープンした高層ビル最上階にあるレストラン。その場にいた全員が聞いたことはあるが行ったことはない)だと一人で1000元くらいすると聞いたがこれは高すぎる。
- 深圳
  - ◇ 800元なんてありえない。(全員一致)
  - ◇ 福田区のレストランでは二人1000元のディナーがもう満員で予約がとれないと新聞を見た。行く人もいるのだろう。
  - ◇ バレンタインデーは西洋の習慣で中国人には関係ない。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 記念日は家で食事をするのが決まり。
    - ◇ 二人で800元は高すぎる。(全員一致)
    - ◇ 一人300元くらいが適当。
    - ◇ 記念日は食事だけでなく互いにプレゼントを贈りあったりする。
  - 深圳
    - ◇ 80年代生まれ以降の若い世代ならひょっとしたらありうるのかも? 自分たちは800元はどうてい考えられない。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 高い。
    - ◇ 記念日ならありえる。
  - 深圳
    - ◇ 高すぎる。プロポーズするときならありえる。
    - ◇ デートでも特別高い店に行く必要はない。(女)(司会者:屋台でもいいのか?) 屋台は嫌。

---

## ②西洋料理や日本料理について

洋食についてはどのグループでも特に意見が出なかったが、日本食については特に広州で活発な意見が飛び交った。洋食に比べ日本食の方が身近な存在のようだ。日本食レストランは値段が高く本格的な店と中国人向けにアレンジされている安い店の2種類があるが、富裕層では高級店の名前を挙げる人が多かったのに対し、主婦、20歳代では安いチェーン店が人気だった。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 西洋料理は特にこだわりはなし。
    - ◇ 日本料理に行くなら普段は100元まで。それ以上は会社負担かデートの時。
    - ◇ サーモンの刺身が好き。
    - ◇ 「中森名菜」（ローカル向けにアレンジした日本料理で有名なレストラン）の寿司は新鮮。
    - ◇ 「大漁」（日本料理店）のビュッフェはなかなかよい。
    - ◇ （「食太郎」、「福臨門」などある程度高級、本格的な日本料理店名がいくつか上がる）
  - 深圳
    - ◇ メニューが分からないので西洋料理店にいったらステーキしか食べない。
    - ◇ 蛇口（地区名）のブラジル料理店が美味しい。
    - ◇ 「インターコンチネンタルホテル」の中のレストランに行ったらすごく高かったのにまずかった。
    - ◇ 「華僑城」（ショッピングモール）の中に雰囲気の良いイタリア料理店がある。イタリア人シェフがいる。
    - ◇ 「華僑城」は韓国料理屋がいい。
    - ◇ 寿司はたまに食べるのはよい。
    - ◇ 寿司は特に好きではない。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 刺身はサーモン、ラーメンが好き。寿司を食べるときは店の清潔度を気にする。
    - ◇ 「大禾寿司」、「一級棒」（ともにローカル向けにアレンジした日本料理店）
  - 深圳
    - ◇ 寿司には特に興味ない。（複数）
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 「中森名菜」に行く。
  - 深圳
    - ◇ 回転寿司に行く。
    - ◇ 「味千ラーメン」に行く。

---

### ③昼食について

どんな場所でいくぐらい消費しているか尋ねた。店の選択では速いことを条件に挙げる人が多かった。お弁当持参は節約のほかに、外食では衛生面が不安であることが大きな理由。

#### ● 富裕層

##### ➤ 広州

- ◇ 速いことが第一、衛生面の安全も大事。（複数）
- ◇ 会社に近いことが条件。
- ◇ 予算は 10～20 元。
- ◇ 12 元。
- ◇ 15 元。
- ◇ お弁当をもっていく。
- ◇ 社員食堂で食べる。日本食もあって味もなかなか。

##### ➤ 深圳

- ◇ 同居の父親が作ってくれば弁当持参。
- ◇ 5 元の弁当も売っているが絶対食べたくない。衛生面が不安。
- ◇ 12 元から 20 元が適当だと思う。10 元以下だと肉が入っていない。
- ◇ 「真功夫」（広東風料理のファストフードチェーン）は広東人以外は食べないと思う。味が薄すぎる。（深圳のすべてのグループで多くきかれた意見）
- ◇ 「吉野屋」はややマシ。
- ◇ 「真功夫」は消毒がきちんとされていて清潔。

#### ● 主婦

##### ➤ 広州

- ◇ 昼は社員食堂。週に 1 回くらいは外で食べる。1 回の外食の予算は 50 元。
- ◇ 中華や洋食などいろんなものが食べられる店があるといいと思う。この点「食太郎」のビュッフェはよい。「真功夫」もよく利用する。
- ◇ 清潔で子供を遊ばせるスペースがある店がよい。

##### ➤ 深圳

- ◇ 油のにおいがしない店がよい。

#### ● 20 歳代

##### ➤ 広州

- ◇ 10 元代の店がよい。

- ◇ メニューやセットの選択肢の多い店がいい。個性のある店があったらよいと思う。
- ◇ 「澳門街」（マカオ料理のチェーン店）、「仙踪林」（台湾系喫茶店チェーン）によく行く。
- ◇ 「仙踪林」は高くてまずい。
- 深圳
  - ◇ 衛生的でお金が節約できるからお弁当持参。作りたくないときだけ外食。
  - ◇ 毎日外食。予算 10 元。

#### ④夕食について

主婦は毎日自宅で食べる人が多い。中国では外食の際、割り勘は他人行儀な気がするとしてメンバーのうち誰か一人が全部支払うことが多いが、90年代以降生まれの若い世代では割り勘に抵抗がなくなってきたといわれる。深圳では広東料理は味が薄すぎると感じる人が多い。

#### ● 富裕層

- 広州
  - ◇ ほとんど外食。（一人を除く全員）
  - ◇ 友人と食べるときは割り勘でなく交互に奢りあう。
  - ◇ 一人あたり平均 50 元から 80 元くらい。
  - ◇ 100 元くらい。
  - ◇ 1 人 100 元以上の消費は会社が交際費で支出する食事が多い。
  - ◇ 奥さんがご飯を作りたくないときに外で食べる。
  - ◇ 給料日の後に外食する。
  - ◇ 恋人や家の人など頻繁に一緒に食べる人より、同僚と一緒にの時のほうが単価が高くなる。親しい人と行くときは安いところに行く。
  - ◇ 雰囲気第一。（女）
  - ◇ 味第一。（男）
  - ◇ 「味然香」（中華ヌードルチェーン）によく行く。一人で食べる時、他に食べる場所がないときになんともなく行く。安いことも理由。
  - ◇ 友人とご飯の後にゆっくり話すときは天河南路のカフェ。（今回のグループインタビューもここで開催）
  - ◇ 番禺（広州郊外地区）で農家菜（田舎風料理の総称）を食べる。ちょっと特別感があるし美味しい。

- ◇ 北京路（広州の古い繁華街）には雰囲気の良いレストランがたくさんある。自分はベトナム料理店が好き。
- ◇ 人が美味しいといったところにはとりあえず行って試してみる。
- 深圳
  - ◇ 友人と食べるときは割り勘でなく交互に奢りあう。
  - ◇ 一人あたり平均 50 元から 80 元くらい。
  - ◇ ほとんど家で食べる。
  - ◇ 仕事が忙しいので会社で出前を食べる。忙しくないときは家に帰って食べる。
  - ◇ 「味千ラーメン」に行く。
  - ◇ 「東華假日ホテル」付近の店によく行く。
  - ◇ 烧烤（バーベキュー）は辛い味の店が好き。
  - ◇ 湖南料理店によく行く。
  - ◇ 香蜜湖路の貴州料理屋によく行く。
  - ◇ 会議を兼ねるときは「上島珈琲」の個室を借りる。個室は 10 室くらいあると思うが予約しないととれないくらい人気がある。
  - ◇ 「丹桂軒」（本社を深圳市に置く広東料理レストラン）は味は普通だが内装が豪華でよい。接待とか、親戚が来たときなどはいつもここに行く。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 夜は家で。たまに外食するときは予算 100～200 元。
    - ◇ 1 人あたり予算 60 元くらい。
    - ◇ 日ごろの食事に食べ飽きたときに少しだけ外食する。
    - ◇ 日本料理屋にみんなで行く。
    - ◇ パスタが好き。ファミリーセットがある店は子供をつれていくのに便利だが、日本料理屋でファミリーセットがある店はないように思う。
    - ◇ 日本料理は冷たい食品が多く子供に食べさせるにはよくないと思う。
    - ◇ 「緑島西餐庁」は食事と公園が一緒に楽しめて好きだ。このようなレストランがもっとあればいい。「緑首閣」（ファミレス風洋食と中華の両方が食べられるチェーン店）にもよく行く。
  - 深圳
    - ◇ ウィークデーは接待が多く外食続き。本当は家で食べたい。
    - ◇ 夜は毎日家で食べる。
- 20 歳代

- 広州：コメントなし。。
  - 深圳
    - ◇ 自分で作ると材料費は10元くらい。外食してもやはり10元くらいで済ませる。
    - ◇ 湖南料理が好き。辛くないと味が無い気がする。
    - ◇ 「吉野屋」は肉がパサパサで値段の割においしくない。
    - ◇ 「真功夫」は味が薄すぎる。
- 

### ⑤ランチに適するどんなレストランがあったら良いと思うか？

(この質問は広州会場のみ)

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ おいしいところ。
    - ◇ 食事が安全なところ。
    - ◇ いつも会社の社員食堂なので選びようが無い。
    - ◇ (外で販売している) 弁当。安くて早いから。
    - ◇ 茶餐厅形式の店がいい。(食事もできる香港風の喫茶店)
    - ◇ 清潔な店。
    - ◇ 日本の寿司店。
    - ◇ 沙面地区(広州市内の旧租界地区。レトロな公園・西洋建築による住宅街もある)に安い店があったらいい。
    - ◇ テイクアウトできる店。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 家庭料理の店。
    - ◇ チーズを用いた料理の店。
    - ◇ 日本料理ももっと子供の食べやすい温かい料理が多ければよい。
    - ◇ 寿司は素材による。安すぎるのは安心できない。
    - ◇ ビュッフェ、フードコートが充実していればいい。
    - ◇ 「緑島西餐庁」のようなレストランがもっとあればいい。
    - ◇ 「食太郎」がいい。
- 20歳代
  - 広州

- ◇ 近くに店があればそれでいい。
- ◇ 平均価格が 10 元代の店。
- ◇ メニューやセットの選択肢の多い店。
- ◇ 個性的な店。

### 【補足情報】

華南地区で洋食レストランの代表的なもののひとつに「ピザハット」がある。ピザ 1 枚が 30～60 元と高価でやや贅沢品という位置づけであるが休日は多くの人で賑わっている。一方日系のイタリア料理店、「サイゼリヤ」は現在広州に 3 店舗あるが、スパゲティが 9 元から、各種ソフトドリンク飲み放題のドリンクバーが 6 元という学生にも受け入れやすい価格帯で行列ができる人気ぶりである。

クチコミ&ランキングサイトの大手、「大衆点評網」には広州で 1 万 7015 件、深圳で 1 万 1297 件のレストランが登録されている。カテゴリー別に登録数トップ 3 は以下のとおり。

#### ➤ 広州

◇ 小吃： 3373 件（お粥、麺、牛モツ煮込みなど、単品メニュー中心の広東風軽食の店）

◇ ファストフード： 2036 件（茶餐厅と呼ばれる香港風の軽食レストランや中華のファストフードチェーン、「マクドナルド」や「KFC」を含む）

◇ 広東料理： 4351 件

#### ➤ 深圳

◇ ファストフード： 2559 件

◇ 広東料理： 2358 件

◇ 湖南料理： 849 件

広州で人気の「真功夫」（広東風料理のファストフードチェーン）は深圳では味が薄すぎるとして人気がない。逆に広東人は辛すぎると感じる人が多い湖南料理は、広東省以外の出身者が多い深圳では人気。

## 12. エコについて

ゴミの分別など身近なところではエコの意識が出てきている。政府が財政面からも推進するべきとの意見が複数人から聞かれた。

- 富裕層

- 広州

- ◇ 最近中国人もエコ意識が出始めたと思う。
- ◇ ゴミを分別するにも、そのシステムがない。行政が先頭に立たないとなかなかエコを実践するのは難しい。
- ◇ 日本の家電はエコ意識が強いと思う。
- ◇ エコバックは持たない。面倒だから。（注：中国では2008年6月から買い物時の袋は販売が義務付けられている。スーパーのプラスチック袋で0.2～0.5元程度。このため現在では袋を持参する人が多数）
- ◇ 冷蔵庫は高くても省エネな高級品を買う。
- ◇ ちょっとくらの値段の差ならエコな商品を買う。

- 深圳

- ◇ ハイブリッドカーはよいと思うが30万元もするのでは高すぎて買えない。国の支援や補助金が必要だ。
- ◇ 国がハイブリッドカー購入を支援する計画があると聞いたが、1万元やそこらでは足りない。最低でも5万元くらいは出してくれないと買えない。
- ◇ 中国ではエコのために余分なお金を出す習慣は根付きにくいと思う。
- ◇ 「ジャスコ」の袋は値段が高いので他のスーパーの袋を持っていく。

- 主婦

- 広州

- ◇ ゴミの分別はしている。
- ◇ 車の所有を制限するべきだと思う。
- ◇ 家の建築材料の毒性が気になる。
- ◇ 割り箸を利用せず、自分の箸を持ち歩いている。

- 深圳

- ◇ 不要になったプラスチックや古新聞は回収業者に売っている。エコに貢献した満足感がある。
- ◇ 使い終わった乾電池は所定の場所に捨てる。できるだけ充電式の電池を使うようにしている。
- ◇ 以前にテレビで日本の省エネに関する番組を見た。日本は資源がないから省エネ意識が高いのだと思った。中国人はなかなかこういう意識が根付かない。

- ◇ 小さい店では無料でプラスチック袋をくれるが質が悪くてすぐ破れるのでやはり自分でエコバックをもっていった方が良い。
- ◇ ごく小規模の店で袋に別途料金を請求されると気分が悪い。
- 20 歳代
  - 広州
    - ◇ スーパーでプラスチック袋がもらえなくなったのは面倒だが環境のためにはやむを得ない。
    - ◇ エコバックは持たない。お金を出してプラスチック袋を買っている。
  - 深圳
    - ◇ 環境のために化粧品を買っても中身だけで箱をくれないメーカーがあるが、自分は受け入れられる。
    - ◇ 住んでいるマンションにゴミの分別場所があるので分けて捨てている。
    - ◇ エコバッグを持ち歩くようにしているが、買い物したいときに限って持っていないので結局プラスチック袋を買ってしまう。
    - ◇ 質のよいものを長く使うのがエコにつながると思う。
    - ◇ 再生紙をコピー機に使うとよく紙詰まりして面倒なので使いたくない。
    - ◇ ゴミは分別して、回収業者に売れるものは売っている。
    - ◇ 使い終わった電池は所定の場所に捨てている。

#### 【補足情報】

中国の環境汚染は深刻で広州で一番大気汚染のひどかった 80 年代末頃はほとんど青空が見えなかったと言われる。現在は汚染をもたらす工場の閉鎖やバス・タクシーの全 LPG 化など対策も進みだいぶ改善されたとは言えるものの、現在も広州の良くない点として空気の悪さを挙げる人が多い。

グループインタビューの中でも話題に上がったスーパーのプラスチック袋の有料化（2008 年 6 月）は、人々が日常生活の中で環境保護を意識する大きなきっかけとなった。

### 13. 自己投資

収入を上げるというストレートな目的のための自己投資がメインだが、心理学の講座に通ったという人のように、仕事に役立つというよりは自分の内面を充実させるため、という意見も見られた。深圳では自己投資に対し、広州より消極的であった。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 働きながら大学院に通った。今はもう卒業した。
    - ◇ 専科（3年制の短大）にしか行かなかったので、本科（4年制大学）に通うことを検討している。学費は2～3万元くらいかかる。
    - ◇ 仕事に関連した本を買う。
    - ◇ 将来のために必要なら自己投資をするが、大変なのでしなくて済むならしたくない。自己投資はお給料を上げるため。
  - 深圳
    - ◇ すでに自己投資が必要な時期は過ぎた。学校に通うというより、自分が専門学校の講師にでもなれるくらいだ。
    - ◇ いまから新しいことを学ぶのは苦痛。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 心理学や人事管理の講座に通っている。自分が興味のある分野なので楽しい。年間に5000元くらい使っている。
    - ◇ 最近、一生毎日美味しいものを食べるか、まずいものを食べるかでは、人生の質が大きく変わる、ということで夫と意見が一致した。料理学校に行こうと思っている。
  - 深圳
    - ◇ 勉強してもなにか得になるわけではないから、いまさらやる気が起きない。（複数意見）
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 22万元で香港地区のMBAに行った。卒業したら会社が学費を半分補填してくれた。今後のステップアップのためと思って行ったが、勉強は本当に苦しかった。
    - ◇ 7000元で技術学校に通った。
    - ◇ 仕事に関係のあるセミナーなどに時々行く。
    - ◇ 年間に5000元くらい書籍代に使う。
  - 深圳
    - ◇ インターネットで独学で英語の勉強をしている。
    - ◇ 女性は外国語の勉強をすると役に立つと思う。
    - ◇ 仕事に関係のある本を買う。
    - ◇ 目の前の仕事を一生懸命やるのが一番と思うから行こうと思わない。

## 【補足情報】

中国では就職時に学歴や資格が重視されるため、社会人になってからも大学のMBA コースなどに通うなどの自己投資が盛ん。北京の大学の分校が深圳のテナントビルの一室にあって単位を取得することができたり、試験だけで学士の資格がとれたり、学ぶ方法も多様化している。

インタビュー結果において深圳では広州に比べて社会人の自己投資が少ない理由の一つとして、深圳に住んでいる人は元来他の地域で比較的良い大学を卒業してから深圳に来た人が多いことに一因があると思われる。2000年頃までは深圳経済特区への往来は自由ではなく、このころまでに深圳に移り住んだ人は高学歴のエリートが多い。従って広州のように「専科にしか行かなかったので本科に行きたい」というような希望が少ないとも考えられる。

## 14. 子供の教育

両方の都市で子供自身の興味を大事にしているとの意見が大勢を占めた。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 少年宮。（主に小学生を対象に、音楽、スポーツ、コンピューター習得などの活動を行う場所。地方政府によって運営されている。ちなみに中国の学校では部活動は一般的ではない。）
    - ◇ ダンス、武術、家庭教師。
    - ◇ 子供自身が興味を持っていることをやらせるのが大事。（複数意見）
    - ◇ 左脳右脳をバランスよく発達させる絵本を買った。（乳児の母親）
    - ◇ バレエ、絵画をさせている。（3歳児の母親）
    - ◇ 幼稚園は1ヶ月で600元～1000元くらい。興味班（音楽、ダンスなどを学ぶ特別クラス）や英語クラスはオプションで1時間50元。他クレヨンなど教材で年間に1000～2000元かかる。
  - 深圳

- ◇ ピアノに5年間通わせたが今はやめた。
- ◇ 今は小さいので何もやらせていないが、小学校に上がったときに勉強がで  
きなかったら家庭教師をつけるかもしれない。
- ◇ 子供がやりたいといったら習わせるし、強制はしない。
- ◇ 隣の家が子供にバイオリンを習わせているが、自分の子供は興味を持たな  
い。
- ◇ 水泳は健康にいいと思うがプールの水が不衛生。

### 【補足情報】

中国では子供を持つこと自体が自分の老後に対する保険である面が強いため、一般に子供の教育には熱心である。ピアノやダンスなどは、日本では情操面を養うための“習い事”であるが、中国では将来それで稼げるようにするための“投資”の意味合いが強い。よって両親や祖父母が習いごとの送り迎えをし、子供の進歩具合を細かくチェックしている姿がよく見かけられる。思うように進歩しない場合は教師や学校を替えたりすることも頻繁に行われるようである。

## 15. ファッション

華南地区は暑い気候であることも関係してか、北京や上海に比べると服装はカジュアルなものが主流。今回のインタビューでは、どんなファッションを好むか、及び、広く普及している香港のカジュアルブランド、「BaLeNo（班尼路）」、「GIORDANO（佐丹奴）」、2008年に深圳、広州に開店したばかりの日本ブランド「UNIQLO（ユニクロ）」について質問した。「ユニクロ」はとくに富裕層、20歳代で知名度が高かった。日本とほぼ同価格で販売されているが、「値段が高い」という印象を与えるようである。

「NIKE」、「adidas」、「KAPPA」等スポーツブランドの名前が多く挙がった。実際に街中ではスポーツウェアを普段着にしている人をよく見かける。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 最近買ったものは1500円でブーツ2足。
    - ◇ 家族に900円のコートをプレゼントした。
    - ◇ 300円でジャケット買った。

- ◇ 「BaLeNo 、GIORDANO はだんだんランクが下がってきているイメージがある。今では生粋の広州人は買わない。買うのは外地から来た人だ。  
(司会者：「ユニクロ」を知っているか? との質問に対し、全員が少なくとも名前を聞いたことがあるとした。)
  - ◇ ユニクロは聞いたことがあるがどこにあるのか?
  - ◇ ユニクロの質は普通。安くはない。
  - ◇ ユニクロの質は中ランク。でもカッティングがよい。
  - ◇ 香港地区のユニクロで買ったことがある。組み合わせ易くてよい。
  - 深圳
    - ◇ 普段は多忙なので、出張で他の都市に出かけた際のついでに買う。
    - ◇ 「NIKE」のセールとかで買う。適当なものでOK。
    - ◇ (司会者：「ユニクロ」を知っているか? と質問に対し、知っているとしたのは1名のみ。)
- 主婦
  - 広州
    - ◇ (司会者：ユニクロを知っているか? と質問したところ、1人のみ知っていた。)
    - ◇ 「ミキハウス」の服はよい。
    - ◇ もうすぐ新年なので子供服を一新する。
    - ◇ 子供服は高い。
    - ◇ 友達の紹介で「HAPPYBABY」というブランドを知り、新生児から2歳サイズの服をまとめ買った。まあまあ満足している。
  - 深圳
    - ◇ (司会者：「ユニクロ」を知っているか? と質問に対し、全員が「知らない」と回答。)
    - ◇ ファッションにこだわるのは金持ちだけ。
    - ◇ 深圳人はファッションで見栄をはる必要がない。二級都市(省の首都以外の周辺の中規模都市)の人の方が逆にファッションで自己主張をする。(编者註：地方出身者は早く都会に馴染もうとして着飾るのに対し、都会人は都会の中に自分のポジションを既に確立しているので、今さらファッションに気を遣う必要は無い、という意味と推測する)
    - ◇ 「MANGO」(スペインのファッションブランド)は安くて質もまあまあ。
    - ◇ 「MANGO」は色が地味すぎてアジア人には似合わないと思う。広告は欧米人モデルが着ているからよく見えるだけ。
- 20歳代

- 広州
  - ◇ （司会者：「ユニクロ」を知っているか？ と質問に対し、全員が「知っている」と回答。）
  - ◇ ユニクロは高いが色揃え充実している。
  - ◇ シンプルなデザインのもので、なおかつオシャレな服が好き。
  - ◇ 「KAPPA」の服をセールで420円で買った。
  - ◇ 会社の運動会で「adidas」を一括購入。代金は会社負担だった。
- 深圳
  - ◇ ファッションは特別感があること、人と違うことが大事。
  - ◇ 「陶宝」（インターネットショッピングサイト）で買うとついつい何時間も見てしまう。
  - ◇ 東門路（深圳の繁華街のひとつ）にある多くの店の商品は安いけど質が悪い。
  - ◇ （司会者：「ユニクロ」を知っているか？ と質問に対し、全員が「聞いたことはあるが見たことはない」と回答。）
  - ◇ 「ユニクロ」は聞いたことがあるが見たことがない。深圳の店舗は小さすぎて品揃えが悪いと聞いた。
  - ◇ 「GIORDANO」はあちこちで見かける。
  - ◇ 「GIORDANO」は安くてシンプルでいいと思う。
  - ◇ 最近400円ちょっとのジャケットを買った。
  - ◇ 着心地がいいことが重要。
  - ◇ スーツは持っていない。（全員）

## 16. 余暇の過ごし方

ショッピング、家族サービス、スポーツを挙げた人が多かった。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ 昼まで寝て、午後ショッピングに行って、夜遊ぶ。
    - ◇ ショッピングに行くのは買い物するためというよりは友達と一緒にぶらぶらするのが目的。
    - ◇ 子供の相手をする。
    - ◇ バドミントン、サッカー、山登山に行く。

- ◇ 経済的には、世界一周でもやりたいと思えば不可能ではないと思うが、暇がない。現実的には広東省内の1~2日旅行だ。
- ◇ 広州近郊の温泉に行く。
- ◇ 休日はだいたい財布に700~800元くらいは入れておく。
- ◇ 夜に人とお酒を飲むと1000元くらい使う。
- 深圳
  - ◇ 登山、バドミントン。
  - ◇ 女性が参加する集まりには参加する。男しか参加しない会合には行かない。(男性)
  - ◇ 接待ゴルフ、会議など結局仕事をしている。
  - ◇ 会社のサッカーチームに参加している。自分は家で寝ている方がいいが、上司がやっているの仕方ない。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ 街をぶらぶら、友達とご飯。最近近所の公園が全面無料開放されたのでそこを散歩する。
    - ◇ 週に数回バドミントンをする。映画を見ることもある。実家に帰ることもある。
    - ◇ 子供のおもちゃなどを買いにショッピング。
    - ◇ 余暇にかかる費用は1ヶ月に1000元くらい。
    - ◇ 旅行に行くなら広東省内など近場がいい。
  - 深圳
    - ◇ 子供と遊ぶ。
    - ◇ 「歡樂谷」(遊園地)の年間パスを買った。2枚で1000元した。1年で30回は行ったので元は取れたと思う。
    - ◇ 「歡樂谷」はプールがよい。「世界の窓」(テーマパーク)は1回しか行ったことがない。
    - ◇ ダンスしたり、ジョギングしたり。
    - ◇ マンションに入っているフィットネスクラブの会員権を年間900元で買ったが結局1回しか行かなかった。
    - ◇ ショッピングに行くと1回500元から1000元使う。
- 20歳代
  - 広州
    - ◇ 街をぶらぶらしていることが多い。
    - ◇ ときどき登山をする。

- ◇ よく DVD を観て過ごす。
- ◇ 寝ていることが多い。
- 深圳
  - ◇ 休みが週に 1 回しかないので家事をしていると終わってしまう。
  - ◇ ストレス発散のため洋服を買う。
  - ◇ 友達と食べ歩き。
  - ◇ インターネットでチャット。
  - ◇ 家の掃除。

## 17. 行ったことのある海外旅行先

中国人がビザを取得し易い東南アジアに行ったことがある人が多かった。20 歳代では海外旅行に行ったことのある人は皆無であった。

広東人は親戚に誰かしら海外移民した人がいることが多く、親戚を訪問するために海外旅行したことのある人が数人見られた。

- 富裕層
  - 広州
    - ◇ フィリピンに行った。
    - ◇ タイに 2 回行った。1 回目は 8000 元、2 回目は 5000 元使った。
    - ◇ 祖母がベトナム人で今もベトナムに親戚がいるので何度か遊びに行った。
    - ◇ 日本に行った。
    - ◇ モルディブに行った。
  - 深圳
    - ◇ ベトナムに行った。
    - ◇ タイに行った。
    - ◇ カンボジアに行った。
- 主婦
  - 広州
    - ◇ インドネシアの親戚を訪問した。3 人で行って合計 1 万元くらい使った。
    - ◇ 会社の旅行で南アフリカに行った。何もなくてつまらなかった。
  - 深圳
    - ◇ タイに行った。
- 20 歳代

- 広州、深圳とも渡航経験なし。

## 18. 行ってみたい旅行先

都市滞在よりも自然景観や遺跡に人気が集まった。旅行の目的を質問したところ、「ショッピング」と回答した人はゼロであった。旅行に関して質問しているにもかかわらず、自分が実際に移民して住んだら？という視点で回答している人がいるのが中国らしい。

華南地区では雪を見たことがない人が多いため、従来から北海道で雪を見たいという人が多かったが、2008年末に公開されヒットした映画「非誠勿擾」の影響でさらに人気が高まっている。

### ● 富裕層

#### ➤ 広州

- ◇ 韓国。
- ◇ フランスやノルウェーなどヨーロッパ。人々の文化度が高いと思う。
- ◇ どこにもいきたくない。中国が一番。
- ◇ 日本に行きたい。日本文化を肌で感じたい。
- ◇ 日本。特に北海道。

#### ➤ 深圳

- ◇ スイス、ベルギーなど自然のきれいなところ。
- ◇ 南極、北極、アフリカなど人のいないところ。
- ◇ チベット旅行を何回も計画したがいつも行こうとすると暴動が起こって中止になってしまう。
- ◇ 旅行はとにかくリラックスのため。リゾートが一番。
- ◇ カナダに100万元投資すれば国籍が取れてカナダの社会保障を享受できる。一生マクドナルドでアルバイトしかできないとしても家族を養うことができるという聞いて少し興味が湧いた。
- ◇ 知人がカナダに移民したが向こうの生活に馴染めず後悔している。
- ◇ 日本。特に北海道。

### ● 主婦

#### ➤ 広州

- ◇ 南米。
- ◇ 韓国。

- ◇ 日本に旅行に行くと中国人は差別されて、買い物の時も質の悪いものを売りつけられると聞いた。
- ◇ 海外は興味がない。
- ◇ ラフティング（急流下り）がしたい。
- 深圳
  - ◇ アフリカで動物を見たいが、アフリカは言葉が通じなかったらと思うと心配だ。
  - ◇ エジプトやローマの遺跡を見たい。
  - ◇ ヨーロッパの生活スタイルを実際に体験してみたいが、移民したら自分の根っこ（编者註：おそらくアイデンティティの意味）がなくなるようで抵抗がある。
  - ◇ リゾートでのんびりしたい。
  - ◇ 勤務している会社の支社がアフリカの何とかという国にあって3年ごとに何人かが交代で駐在する。若いころはすごく行きたかったが、自分は技術者ではないので行けなかった。今申請すれば行けると思うが今となっては駐在は面倒。
- 20 歳代
  - 広州
    - ◇ ケニヤ。キリマンジャロに登りたい。ガイドをつければ普通の人でも山頂まで行けるそうだ。
    - ◇ ヨーロッパの街並みを見たい。
  - 深圳
    - ◇ ニュージーランド。福利厚生や社会保障制度がよい。
    - ◇ スウェーデン。友人が留学しているから会いに行きたい。
    - ◇ ヴェネツィア。地球温暖化による海面上昇で沈む前に見たい。
    - ◇ 北極南極。極限状況で自分の生命力の強さを試したい。普段の恵まれた生活に感謝できるようになるのではないか。
    - ◇ 北海道。
    - ◇ 東京。

#### 【補足情報】

中国人が日本に観光旅行へ行くには原則団体ツアーに参加しなければならない。最

近個人自由旅行も解禁されたが、20 万元以上の預金があること等条件が厳しい。それでも個人旅行ができるのであれば日本に行きたいと言う中国人は多い。

一方旅行会社のデータによると日本へ行く旅行者はリピーターが多いのが特徴で、一回行くともう一度行きたいと思うようである。行った人の中では日本に対して「どこも大変清潔だった」という感想を持つ人が多い。

## 19. 国別イメージ

広州と深圳の各層でヨーロッパ、中でも北欧諸国が高い評価を得た。中国では自国の環境汚染と社会保障に不満を持つ人が多く、この点で北欧諸国は先端をいくからのようだ。ニュージーランドはビザの取りやすさから留学や移民する人が多く中国人にとって身近な国のひとつ。

### ● 富裕層

#### ➤ 広州

- ◇ 中国が一番いい。
- ◇ 日本の文化が良い。
- ◇ 韓国が嫌い。中国人に対する排他意識が強いから。
- ◇ フランスが好き。ロマンティックなイメージ。

#### ➤ 深圳

- ◇ アメリカ、世界の大国だから。
- ◇ ドイツは敷居が高くて近寄りがたいイメージ。
- ◇ フランスが好き。ロマンティックなイメージ。

### ● 主婦

#### ➤ 広州

- ◇ アラブは独裁的イメージでよくない。
- ◇ 欧米は環境がよくマナーがよい。ノルウェー、デンマークもいい。
- ◇ スウェーデン。「IKEA」（家具店）の影響でおしゃれで環境保護が進んでいるイメージがある。
- ◇ ニュージーランド。気候が良くて自然環境がいい。

#### ➤ 深圳

- ◇ 本音を言えば 80%以上の方が日本を嫌いだと思う。
- ◇ バスで日本語の勉強をしていたら知らない人に怒鳴られた。

- ◇ 韓国が嫌い。ビジネス上でもルールを守らない。（司会者：韓国ドラマは見ないのか？との質問に対し）韓国ドラマは好きだが、あれは幻想の世界で現実とはだいぶ異なると思う。
  - ◇ 取引先の韓国人が深圳に来たときに食事に連れて行くが、どんな料理店に行っても必ずキムチ持参で来る。
- 20 歳代
  - 広州
    - ◇ 特に無い。
    - ◇ マレーシアのイメージが悪い。
    - ◇ 欧州と日本が洗練されている。
    - ◇ スイス、ニュージーランドがゆったりしてよい。
    - ◇ 東莞の婦人靴工場で働いている友人が出張でイタリアに行った。そこは東莞よりもっとさびれた感じの場所だったにもかかわらず、イタリア人は「中国人は自分たちより貧しくて遅れている」と思い込んでいたそうだ。
  - 深圳
    - ◇ ニュージーランド。社会保障が充実しているから。
    - ◇ フランス。高級化粧品のイメージ。

## 20. 日本のイメージ

広州、深圳とも、各グループの回答はほぼ同じだった。大きくは富士山、桜などの観光イメージとテレビドラマやアニメなどコンテンツのイメージ。礼儀正しさや男尊女卑など、日本人に対するイメージを回答した人もいた。

- 全グループ共通
  - ◇ 「富士山」「ショッピング」「桜」「温泉」「一休さん」「ドラゴンボール」。
  - ◇ 礼儀正しい。
  - ◇ 日本は旅行番組でよく紹介されている。
  - ◇ 地下鉄で日本旅行の広告をよく見る。
  - ◇ ドラマ「燃えろアタック」。（80年代に中国で大人気を博した日本のスポ根ドラマ。当時主演の荒木由美子は中国で絶大な人気を得た。現在30歳以上の中国人は多くの人知っている）
  - ◇ 子供のころ、自分の住んでいた北京では「燃えろアタック」が放送されていなかったの、家の屋根にアンテナをつけて天津の局で放送されているのを受信

して見ていた。電波の状態が悪く、毎回屋根によじ上ってアンテナを調整していた。（深圳・富裕層）

- ✧ 日本人は「燃えろアタック」のようなスポ根ものを見て育つから、根性がついて大人になってからも懸命に働くのではないか。（深圳・富裕層）
- ✧ 「クレヨンしんちゃん」。
- ✧ 「パナソニック」ブランドは小さいときからなじみがある。
- ✧ 「宮崎アニメ」「おしん」。
- ✧ 男尊女卑。
- ✧ 山口百恵の「赤いシリーズ」を見て、将来は絶対に三浦友和のようなハンサムと結婚しようと決めた。実際その通りになった。（深圳・富裕層）
- ✧ 自分たちの世代で日本といたら大体がアニメのイメージだ。（広州・20歳代）
- ✧ 映画「非誠勿擾」は北海道の宣伝のためにつくられたような映画だ。北海道政府は宣伝費を出してもよいくらいだ。（広州・20歳代）

### Ⅲ. 全体のまとめ

#### 1.年代別特徴

多くのトピックで買い物するときの情報収集や選び方に関して最も詳細に、活発に発言したのは30歳以上の人であった。これに対して広州、深圳両都市ともに20歳代のグループは簡単な発言にとどまった。これは中国では20歳代は収入が少ないため、ある程度自由に買いたいものが買えるようになるのが30歳以上であることに起因すると考えられる。両都市ともに20歳代で海外旅行に行ったことのある人は皆無であった。中国では学生のアルバイトが一般的ではないので、大学生の購買能力は低い。

#### 2.グループ別特徴

主婦グループは外食の頻度が他グループに比べて低い一方、子供用品の買い物についてさまざまな意見が出るなどの特徴があるが、富裕層や20歳代グループの男性でも子供の教育や食材の買い物について主婦顔負けの鋭い発言（xxxxスーパーの肉は鮮度が悪い等）をする人がいた。この原因は ①中国では専業主婦が少なく共働きが多いこと ②食事や子供の世話など家事全般において男性が担当する頻度が高いこと ③家事、育児を互いの両親に任せたり、家政婦を雇う家庭が多いことによると思われる。

### 3.都市別特徴

いくつかの質問項目で収入の多寡によらず、広州の方が深圳に比べて、精神的満足を得るために気前よく使う傾向が見られた。

例1： 800 元のディナーセットに対し広州の富裕層は全員が試してみてもよいという回答であったのに対し、深圳ではほぼ全員が否定的。

例2： 広州では心理学や料理など収入に結び付かない趣味の習い事をしている主婦が見られたが、深圳では収入に結びつかない勉強は無駄との意見が強かった。

例3： 深圳では富裕層でもコピー商品の携帯電話やパソコンを買うと答えた人が複数いたのに対し、広州ではいずれのグループでもオリジナル商品を生産しているブランドの名前しかでなかった。

広州は古くから貿易の拠点として発展した都市で、地元出身の人が多い。広州の人々は両親と同居、または両親が近くに住んでいて親の支援を受けやすく経済的に余裕があること、また子供のころから都会育ちで贅沢品に対する出費に抵抗が薄いことなどが考えられる。

一方、深圳は 80 年代以降急速に発展した移民都市である。深圳に暮らす人々の大部分が他都市の大学を卒業してから深圳に働きに来た人々、あるいは地方からの出稼ぎの人々である。子供のころからの節約習慣が染み付いていること、また広州に比べて住居費が高く贅沢品にまわす余裕が少ないことが消費に対し消極的な理由の一つであると考えられる。

### 4.男女別特徴

全体にどちらかと言えば女性の方が活発に発言していたという程度で目立った違いはみられなかったが、アルコール飲料については男性からの発言しかなかった。これは中国の女性はアルコールを飲む量が少ないか、まったく飲まない人が多いためと考えられる。

### 5.全体をとおして

インタビューの間、頻繁に聞かれた単語が「性価比」（価格性能比、費用対効果）であった。中国では、ひとつの商品を買うにも、海外ブランドと中国ブランド、本物とニセモノ、流通ルートが正規のものと不正規のもの、というように様々な選択肢がある。

販売店に騙されないよう、商品の性能と品質を常に比べられる自分自身の物差しを持つ必要性から、「性価比」に敏感になるようだ。

このような環境の中でより賢い買い物をするためにいろいろと考え、情報収集していることが今回のインタビューを通してうかがわれた。

以上